

銀漢亭日録



伊藤伊那男

8月18日(日) ▼まだ京都に残っている五人と再登場の凌雲君とで祇園閣へ。以前から気に懸っていた建物。信長父子縁の大雲院の跡に、大倉喜八郎発案の祇園祭の鉾に模した塔を建てたもの。あと八坂の塔、法観寺)の木曾義仲の首塚を拝す。塔は二階まで登ることができる。あと黒谷、真如堂の向井去来の墓、会津藩士の大墓、金戒光明寺を巡り、十四時、聖護院の「河道屋 養老」へ。養老鍋を囲み、京の旅の打上げとする。私は皆と別れて奈良へ。アパホテルへ投宿。十九時、野村證券時代の友人、畑中利久氏の経営する「桃谷樓」を訪ねる。三時間ほど歓談。馳走を受ける。

19日(月) ▼十時、近鉄奈良駅で旧友深川知子さん、鶴田武子さんと待合せ。タクシーで多聞城跡(松永弾正の城。今は若草中学校に なっている)、聖武天皇・光明皇后陵、東大寺戒壇院。西ノ京の垂仁天皇陵、依水園の案内を受ける。園内で冷素麺の昼食。思ひ 出話など尽きず、あと二月堂などを散策。近鉄奈良駅で別れて京 都へ。深川さんより「銀漢」へ基金を戴く。

20日(火) ▼「天為」発行所にて「火の会」九人。皆さん元氣。酒飲 みばかり。私はフルーツ盛合せと蜜豆の夕食。

21日(水) ▼十一時、加々美先生の整体。全体の疲れか、昼寝。梨、 トマト、パイナップルの昼食。夜、娘の作るワナタン(亡き妻から の伝授。久々)うまい。五句会程の選句。

22日(木) ▼南瓜の味噌汁がうまい。「高橋茶舗」などに買物。祖師ヶ 谷大蔵の「オオゼキ」が閉店して淋しい。帰路、突然の雨でずぶ濡 れ。井上井月についての講演の手直しなど。

23日(金) ▼昨日で十二回目の抗癌剤服用が終わる。一週間の休み。久

重凜子さん八月五日に逝去の知らせあり深悼。数句会の選句。

24日(土) ▼転寝をするなど、ぐずぐず過す。これではいけないと思 いつつ……。到来のただ茶豆、鎌原胡瓜の浅漬。刻み茗荷など。

25日(日) ▼茗荷の串焼(味噌を塗る)、大根おろしとじゃこ。若井 新一さんから到来の越後の巾着茄子四十個程を焼茄子にして保存。 塩揉み十数個と、二時間程作業。

26日(月) ▼この二日程、のろのろ過ぐす。集中力無し。思いついて 測ると体温が三十八度。血圧も高い。娘から熱さましを貰い臥す。

27日(火) ▼平熱に戻る。血圧も下る。食欲戻る。昼、冷し中華。 夜、鶏肉フライ少々。久々、肉を食す。

28日(水) ▼焼茄子に出汁の効いた味噌汁を張る。五穀米。茄子浅漬。 昼、素麺。数句会の選句。「銀漢」十月号の投句欄選評。

29日(木) ▼「慧星集」選評を書いてやっとな月号の選句。執筆全て 終了。ほつと一息の時。大型台風がゆるゆると近づいている。今 日は皆川盤水先生の命日。十四時、高幡不動駅に小野寺清人さん と待合せ。雨の中墓参。「開運蕎麦」で先生を偲ぶ。夜、煮南 瓜、こぼろ等煮染め、とうもろこし御飯、梨など。

30日(金) ▼台風襲来にて幹事より、九月一日の「北軽井沢句会」訪問 は見合わせたいと了解。そもそも前日の伊香保「夢三忌俳句大会」 に辿り着けるかどうか? 今日から抗癌剤十三回目服用。台風接近 中なかなかの人数。特に庄巻は、本尊の薬師如来立像、高雄曼陀羅、 板彫りの弘法大師像。二時間ほど熱中。アメ横で蛙の切身。ちりめん じゃこを買って帰る。

31日(土) ▼八時五分、新宿バスタ発の高速バスで伊香保温泉へ。 「竹久夢二伊香保記念館」。実に洒落た展示。作品豊富、建物、 調度も見事。一時間半ほど見学す。石段上の露天風呂に行くと、

政、まほさんがいて、温泉饅頭を貰う。三十分ほど湯につかり、 「ホテル天坊」へ。木暮陶句郎さんの出迎えを受ける。十六時、 五句投句の句会。隣が俳優の小倉一郎(蒼蛙)さん。三十年位前 にお会いしており、お互いの癌の話など。あと親睦会。例によつ て陶句郎さんの女装は凄絶なものでした。あと仲間の部屋で菊田和 音さん持参のワインで話。二十三時就寝。

9月1日(日) ▼台風一過の様子にて、一旦中止と決めていたがやは り嬌恋村「北軽井沢句会」の柴山つぐ子さんを訪ねることに決め て連絡を取り合う。朝食良し。九時発、バスツアーで榛名湖「ゆ うすげの道」の花野散策。午後、夢二についてのシンポジウム。 三句出し句会など。「銀漢」勢活躍。参加者七人。十六時、終了 して清人車で嬌恋村の柴山つぐ子さんを訪問。料理用意して待っ ていて下さる。二十二時過まで歓談。急な訪問ながら宿を手配し ていて下さる。「コスモス」泊。嬌恋訪問は井蛙、政、麦。

2日(月) ▼作句、日録。九時、柴山家。朝食戴く。三句出しの句会。 北軽井沢句会の方々の句も集まっている。軽井沢駅まで送ってい ただく。途中のチヨコレット店でソフトクリームを舐める。十三 時前の新幹線で帰る。柴山さんとお会いできて良かった！

3日(火) ▼九時過、順天堂医院。採血、CT検査。代診の先生と面 談。CT検査異常なし。血液検査の腫瘍マーカーの数値が高い。 ここの一週間位で発熱があつたか? と。確かに一週間前に発熱あり、 と答えると、その場合、数値が上がることがあるが、念の 為、近々、MRI検査をしよう。薬を貰うのに時間がかかり、 結局、病院通いも一日がかり。梨がうまい。

4日(水) ▼「銀漢」十月号の校正作業。老眼鏡とルーペが頼り。梨、 林檎がうまい。「三丁目の夕日」のエッセイ二本(安住敦、山口 青邨)。

6日(金) ▼十一時三十五分、新宿バスタ発の高速バスに乗車。伊那 へ向かう。途中、八王子ジャンクション付近の事故の影響で、一般 道に出く大渋滞。結局、五時間半かかって到着。すぐ「いなっせ」 にて伊那市の文化スポーツ部文化交流課の方々と、当方、北村監督他 「井上井月顕彰会」と、来年からの「井月俳句大会」についての打 合せ。十九時、「門」にて、いづみ、麦さんと合流して夕食。「伊 那パークホテル」へ投宿。部屋で歓談。私はプリンのおやつ。

7日(土) ▼五時半起床。今日の講演のおさらい。「井月はどこを行脚 したか」。朝食しつかり。「いなっせ」にて「井月さんまつり」。 十時四十分から一時間講演。昼「門」で冷し中華。午後も四人の講 演あり。充実している。中山ドクターと丁度一年振りにお会いす る。最初に病気を発見して下さった。幼友達の萩原空木さんも来て くれる。十八時から「角八」にて親睦会。「高遠句会」の守屋明、 坂下昭、三溝恵子、中山中、萩原空木、池内とほる、東京組は、い づみ、麦、まほ、政、井蛙、理、一斗。「井上井月顕彰会」は、北 村、平澤、宮下、翁、友美さん。計十九人で盛り上がる。皆は二次 会へ。私はホテルへ戻り、あんみつパフェ。

8日(日) ▼十時、「伊那市創造館」。映画「倭文」の特別展あり、 北村監督から解説をして戴く。考古資料館を改めて見ると日本一 美しいという石斧、言われてみれば凄いい! 図書館の蔵書もい い。一日籠りたい程である。十三時から「井月俳句大会」。唐沢 冬朱、松崎正さん他と挨拶。「岳」の窪田英治さん、「信濃俳句 通信」の佐藤文子さんと久々。十六時過にお開き。北澤一伯君が 松本から来てくれる。「門」で打上げのあと、井蛙、一伯さんと 三人、辰野の鯉料理店「小坂」へ。鯉こく、鰻のかば焼で歓談 (三人共伊那北高校同期)。井蛙さんの車で高井戸まで送って貰 う。二十三時過、帰宅。